

## 医療の質・安全チーム大賞（Quality & Safety Team Awards 2022）発表会

令和5年3月14日（火）16時から Quality & Safety Team Awards 2022（医療の質・安全チーム大賞）発表会が開催されました。

今年度は、7事例のエントリーがあり、どの事例也多職種によるチームで取り組み、苦勞しながらも見事に目標に向けた活動がわかる取組ばかりでした。

全国労災病院の医療安全管理部門の方々に「私たちもやってみたい。」「参考にしたい。」と思われる事例を3つ投票していただき、上位3チームが選出されました。

これを機会に、全国労災病院間で、優秀な取り組みの共有など医療安全に係る情報交換が柔軟に行われ、医療安全チームの取組が尚一層充実し、労災病院全体の「医療安全文化の醸成」の底上げにつながることを期待しています。



### 【受賞チーム紹介】

#### ◆ 東京労災病院「薬剤アレルギー投与防止対策チーム」

「薬剤アレルギー情報の登録に対する薬剤師による全例チェックの有用性評価」



#### ☆受賞のコメント☆

この取り組みを始めたときは、上手く行くのかなど不安でしたが、賞をいただき自信になりました。今後も医療安全に貢献していきたいと思ひます。

◆ 関東労災病院「CVC/PICC 小委員会チーム」  
「中心静脈カテーテル標準化を目指した当院の取り組み」



☆受賞のコメント☆

CVC に関しての苦い経験から、CVC の標準化を目指したこの取り組みが、他の労災病院でも参考になればうれしいです。  
チームメンバーみなでこの賞を分かち合います。

◆ 富山労災病院「地域連携で取り組む手術前中止薬指導チーム」  
「地域連携で取り組む手術前中止薬の指導・確認」



☆受賞のコメント☆

外来看護師と薬剤部の協力のもと取り組みました。  
これからも多職種と共に連携を図りながら、院内全体で医療の質と安全の向上に努めていきたいです。